

# 2020年度 オンライン授業アンケート結果（教員）

2020年11月26日

武蔵大学FD委員会

# I .実施概要

- 実施期間：2020年10月21日（水）～11月4日（水）
- 実施方法：Google Formsにて実施
- 調査対象：全教員
- 対象者数：495名（専任教員：114名、非常勤講師：381名）
- 回収数：115名（回収率：23.2 %）

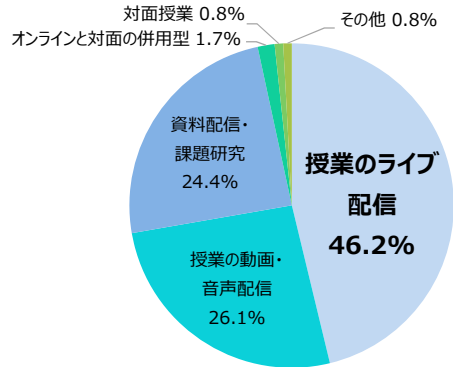
## Ⅱ. アンケート調査項目

- どのような形態で授業を行っていますか？(複数回答可)
- どの回線を使用して授業を実施しましたか？(複数回答可)
- 一週間に一授業あたり平均して、学生がどのくらいの時間を費やすことを想定して課題を課していますか？
- オンライン授業を行う上で、困っていることは何ですか？(複数回答可)
- オンライン授業を行う上で、良いと感じていることは何ですか？(複数回答可)
- 対面授業と比較して学生の授業理解度についてどう思いますか？
- 教育の質を確保するために工夫していることは何ですか？(複数回答可)
- 講義科目の授業において、どのような方法で成績評価をする予定ですか？(複数回答可)
- どの授業形式が適していると思いますか？(授業形態ごとに回答)

## Ⅲ. 調査結果

# 1. どのような形態で授業を行っていますか？（複数回答）

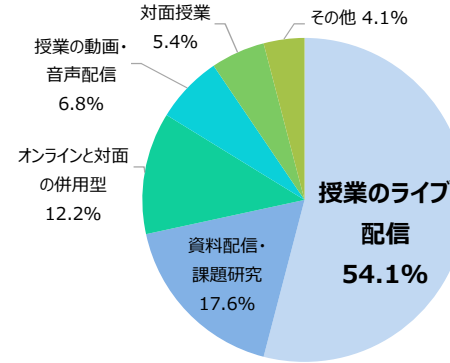
## 講義



資料配信・課題研究	29名	24.4%
授業の動画・音声配信	31名	26.1%
授業のライブ配信	55名	46.2%
対面授業	1名	0.8%
オンラインと対面の併用型	2名	1.7%
その他	1名	0.8%

(n=119)

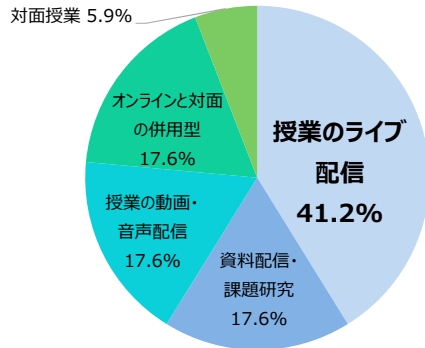
## 演習（ゼミ）



資料配信・課題研究	13名	17.6%
授業の動画・音声配信	5名	6.8%
授業のライブ配信	40名	54.1%
対面授業	4名	5.4%
オンラインと対面の併用型	9名	12.2%
その他	3名	4.1%

(n=74)

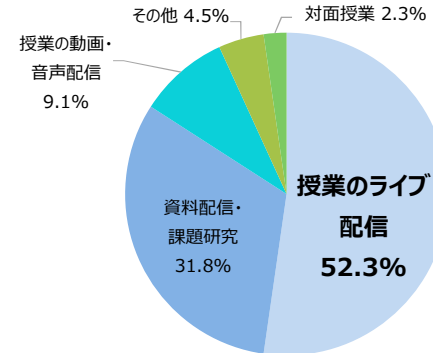
## 実験・実習・実技



資料配信・課題研究	3名	17.6%
授業の動画・音声配信	3名	17.6%
授業のライブ配信	7名	41.2%
対面授業	1名	5.9%
オンラインと対面の併用型	3名	17.6%
その他	0名	0.0%

(n=17)

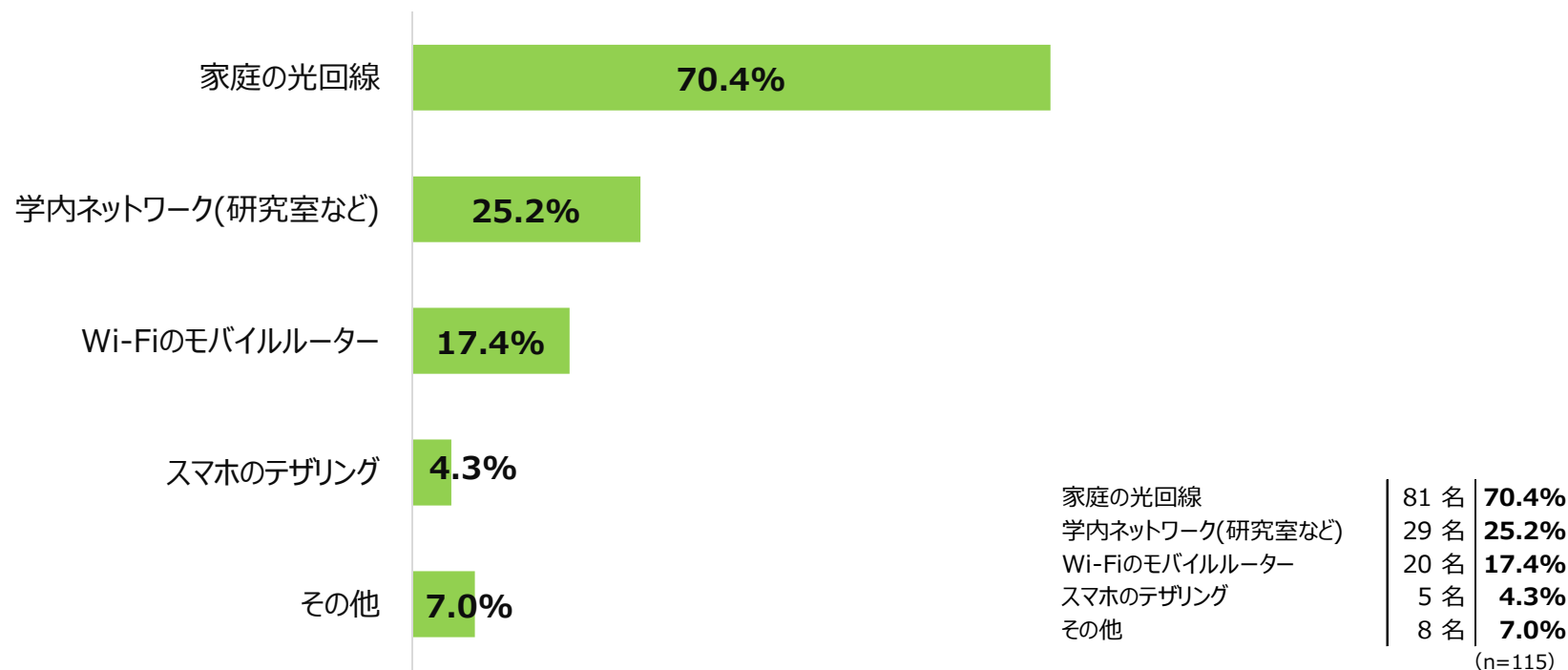
## 外国語（選択外国語科目を含む）



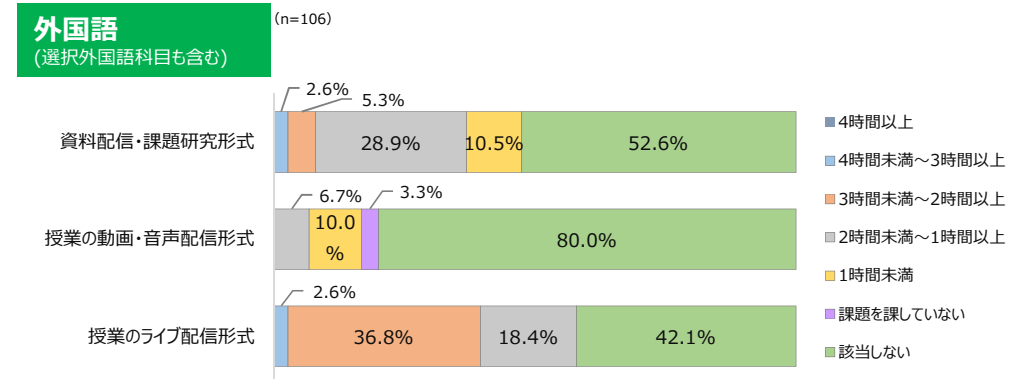
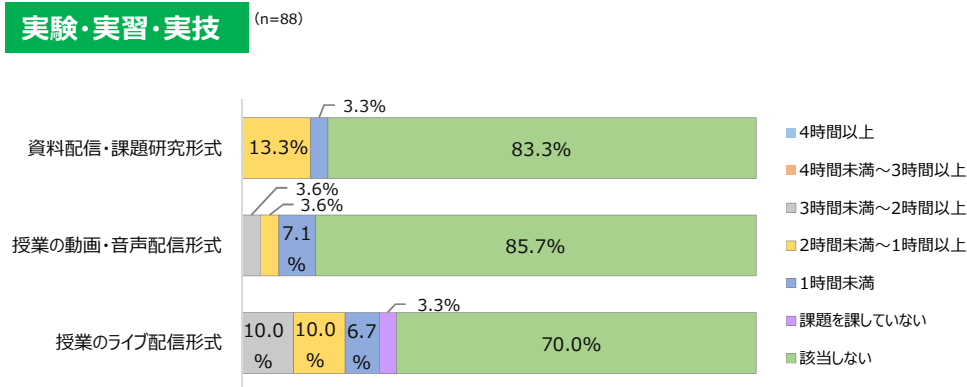
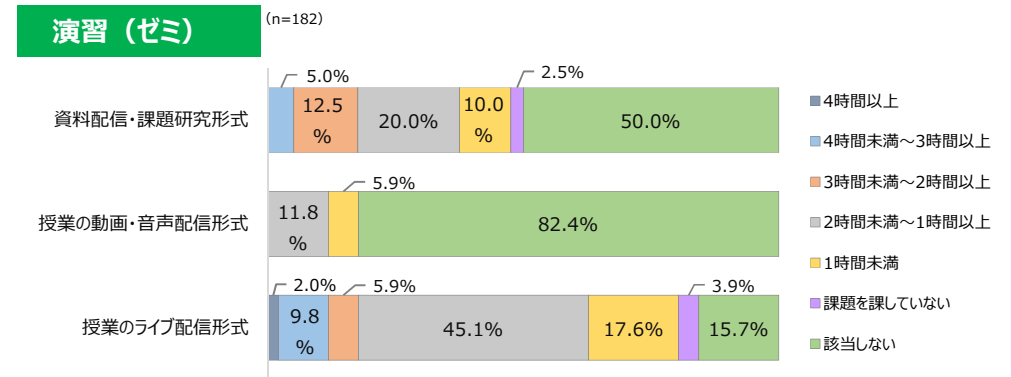
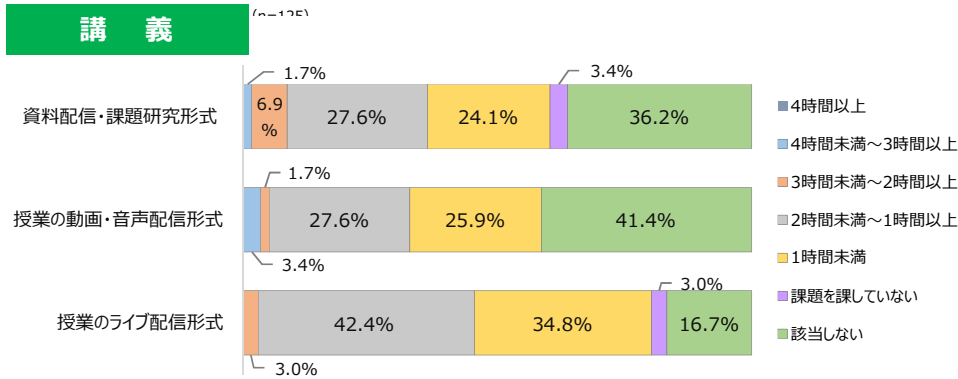
資料配信・課題研究	14名	31.8%
授業の動画・音声配信	4名	9.1%
授業のライブ配信	23名	52.3%
対面授業	1名	2.3%
オンラインと対面の併用型	0名	0.0%
その他	2名	4.5%

(n=44)

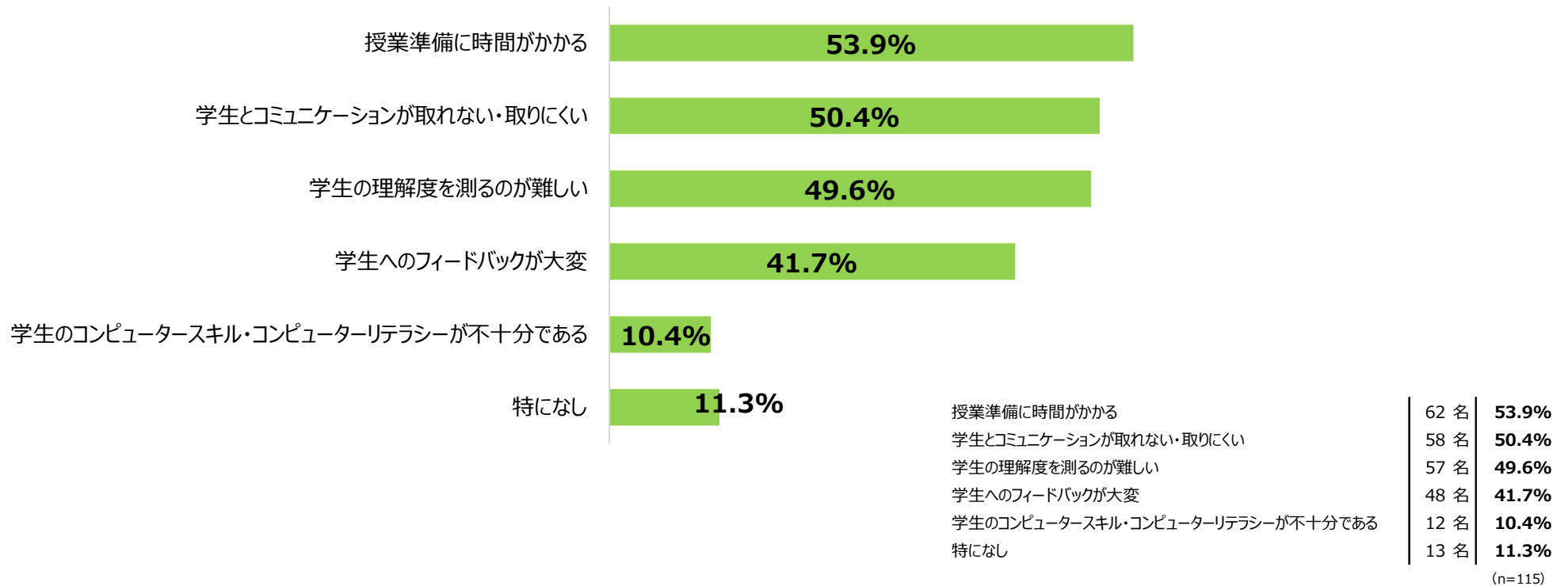
## 2. どの回線を使用して授業を実施しましたか？（複数回答）



# 3. 一週間に一授業あたり平均して、学生がどのくらいの時間を費やすことを想定して課題を課していますか？ (オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答)



## 4. オンライン授業を行う上で、困っていることは何ですか？（複数回答）

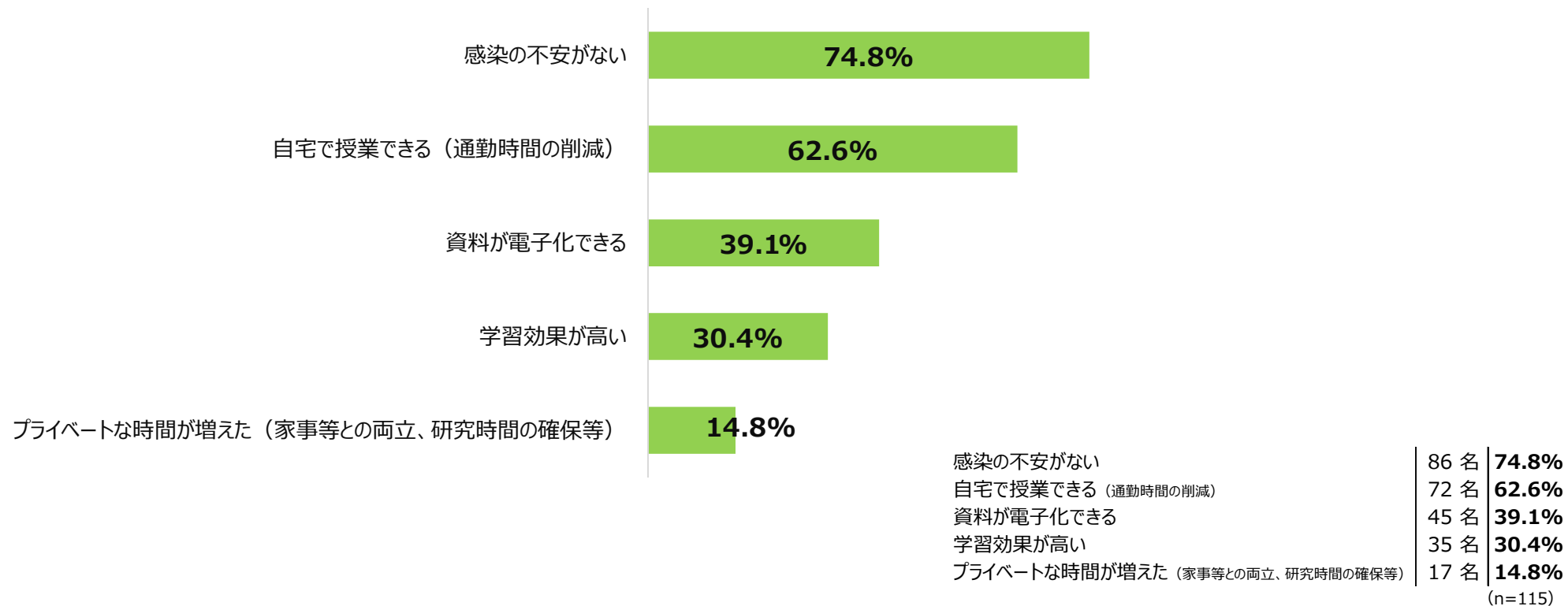




#### 4. 上記以外にあればお書きください (自由記述)

- 学生の表情が分からず、理解度が測りづらい
- 内容の補足を行う際に、板書ができず不便
- 自分のICTスキルが不足している
- 大学のWi-Fiが不安定でZOOMの授業中に回線が切れる
- グループワークを行う際に、グループ毎にちゃんとやっているか管理するのが難しい

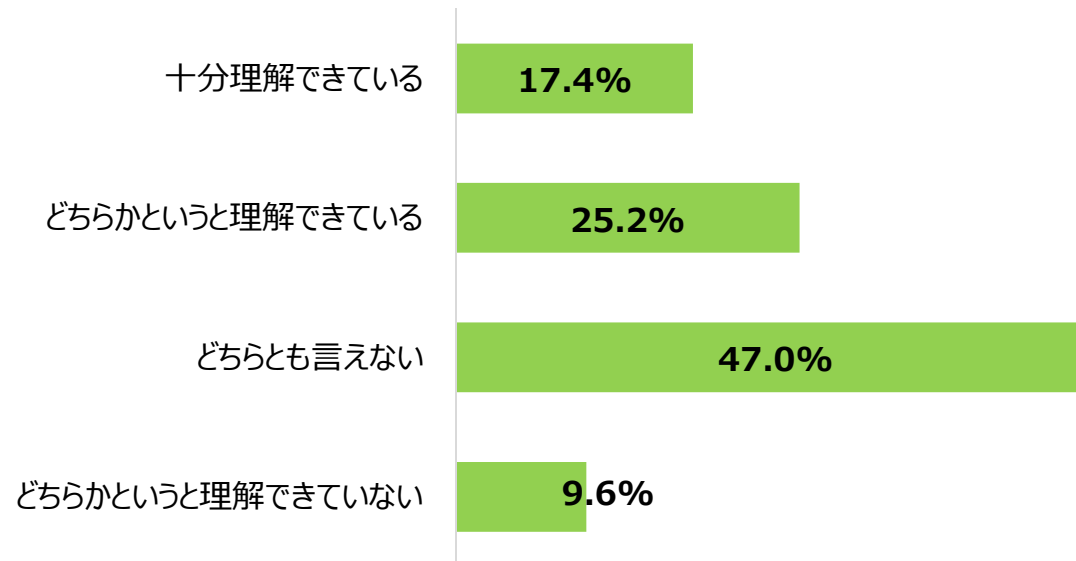
## 5. オンライン授業を行う上で、良いと感じていることは何ですか？（複数回答）



## 5. 上記以外にあればお書きください（自由記述）

- 資料を配付・印刷する手間が省ける
- 学生から活発なフィードバックがある
- オンデマンド配信を行うことで、欠席者等への配慮も出来る
- 質問が対面より多く、インタラクティブな授業が出来る
- 学生へのフィードバックを多く行うようになり、学生一人ひとりへの気配りが出来る

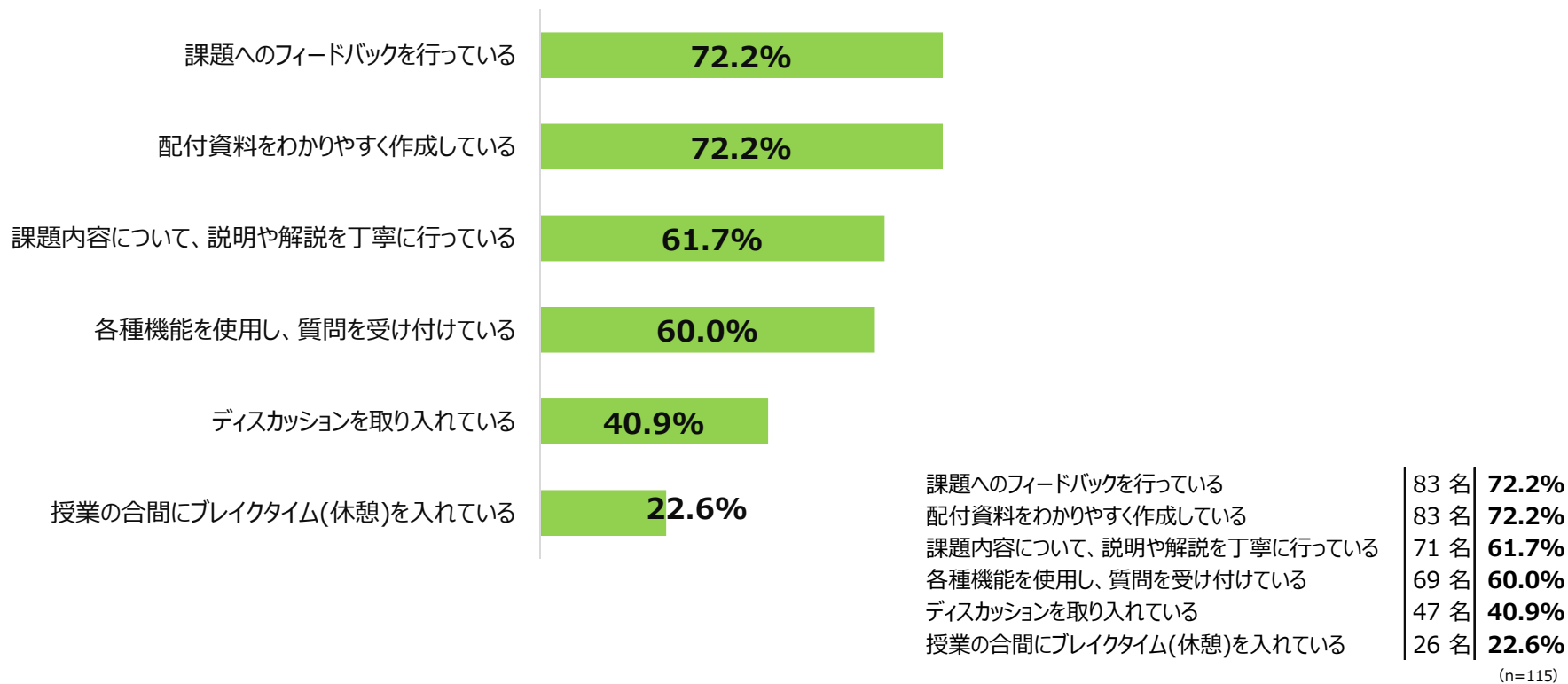
## 6. 対面授業と比較して学生の授業理解度についてどう思いますか？



十分理解できている	20 名	17.4%
どちらかという理解できている	29 名	25.2%
どちらとも言えない	54 名	47.0%
どちらかという理解できていない	11 名	9.6%

(n=115)

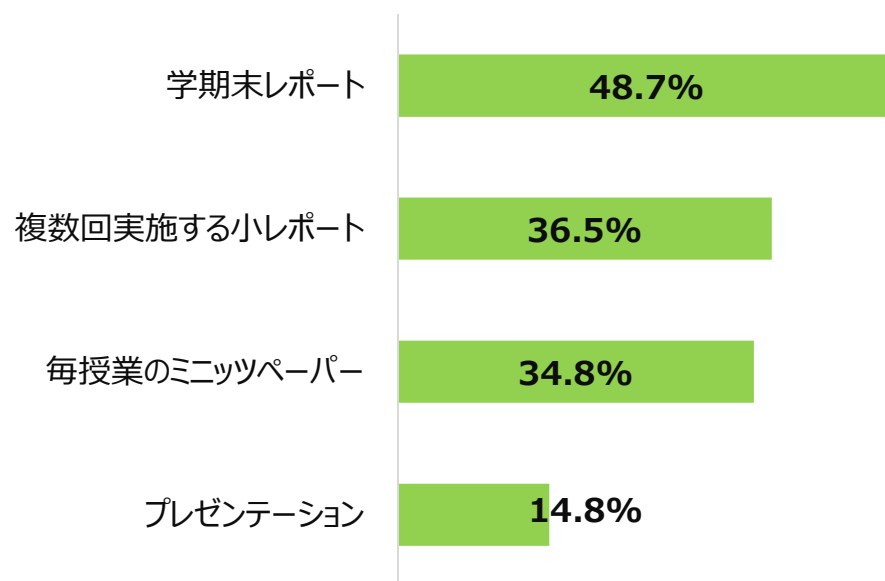
## 7. 教育の質を確保するために工夫していることは何ですか？ (複数回答可)



## 7. 上記以外にあればお書きください（自由記述）

- 意見交換を行うための質問をリアクションペーパーにて奨励している
- 資料や講義動画のアップロードをスピーディーに行っている
- リアルタイム配信の授業では、履修生に必ず発言の機会を与え、緊張感を保つようにしている
- 学生からの質問・相談を次の授業で皆にシェアしている
- 少しでも対面の雰囲気近づけさせるため、オンデマンドの動画の隅に自分を映している。

## 8. 講義科目の授業において、どのような方法で成績評価をする予定ですか？ (複数回答可)



学期末レポート	56名	48.7%
複数回実施する小レポート	42名	36.5%
毎授業のミニツツペーパー	40名	34.8%
プレゼンテーション	17名	14.8%

(n=115)

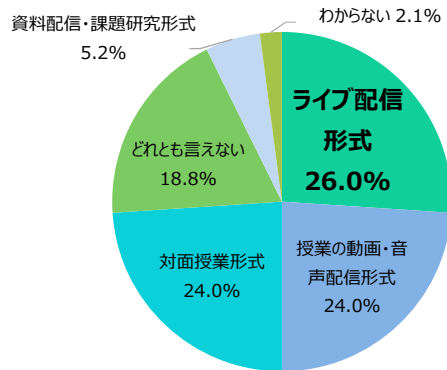
8. 上記以外に成績評価において工夫していることがあればお書きください。(自由記述)

- 評価対象を複数設け、配点を出来るだけ分散させている
- グループディスカッションでの発言の質や量を加味している
- 通信環境が良くない学生のために課題提出の締切を緩やかにしている
- 採点時間を省くために、Google Formsを利用している



# 9. どの授業形式が適していると思いますか？ (授業形態ごとに回答)

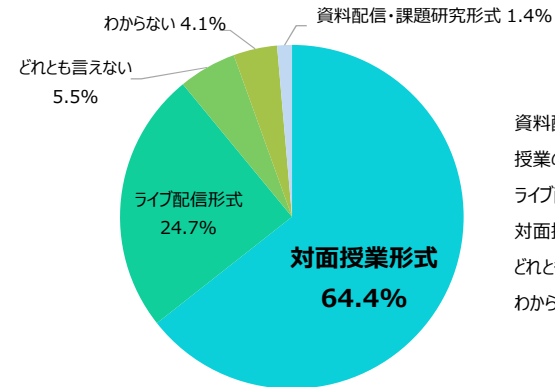
## 講義



資料配信・課題研究形式	5名	5.2%
授業の動画・音声配信形式	23名	24.0%
ライブ配信形式	25名	26.0%
対面授業形式	23名	24.0%
どれも言えない	18名	18.8%
わからない	2名	2.1%

(n=96)

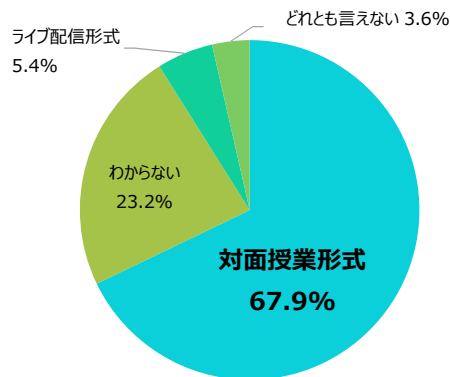
## 演習 (ゼミ)



資料配信・課題研究形式	1名	1.4%
授業の動画・音声配信形式	0名	0%
ライブ配信形式	18名	24.7%
対面授業形式	47名	64.4%
どれも言えない	4名	5.5%
わからない	3名	4.1%

(n=73)

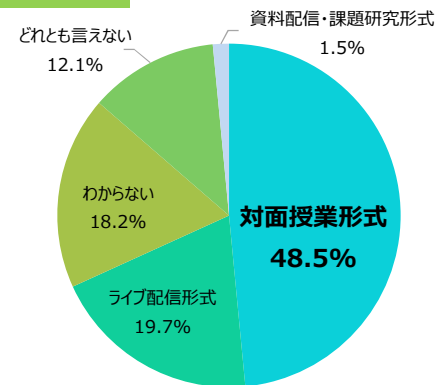
## 実験・実習・実技



資料配信・課題研究形式	0名	0%
授業の動画・音声配信形式	0名	0%
ライブ配信形式	3名	5.4%
対面授業形式	38名	67.9%
どれも言えない	2名	3.6%
わからない	13名	23.2%

(n=56)

## 外国語 (選択外国語科目を含む)



資料配信・課題研究形式	1名	1.5%
授業の動画・音声配信形式	0名	0%
ライブ配信形式	13名	19.7%
対面授業形式	32名	48.5%
どれも言えない	8名	12.1%
わからない	12名	18.2%

(n=66)

## 10. 対面授業が良い理由（自由記述）

- 学生の理解度が測りやすいため(共)
- 学生の反応に合わせて、臨機応変に対応できるため(講)
- 相互のコミュニケーションが取りやすいため(演・実・外)
- 通信環境による影響を受けずに円滑に議論が進行できるため(演)
- PCなどを使用する科目は、対面でないと操作、間違いを教えにくいいため(実)
- 会話練習はオンラインでは限界があるため(外)

## 10.ライブ配信が良い理由（自由記述）

- 学生や教職員を感染リスクから守るため(共)
- 対面授業と同等のレベルで学生とコミュニケーションがとれるため(演・外)
- 双方向型の授業が基本であると考えるため(演)
- 感染のリスクを避けつつ、発表が行えるため(演)

## 10.授業の動画・音声配信が良い理由（自由記述）

- 講義動画や資料を繰り返し見ることで知識が深まるため(講)
- 学生が自分のペースで学習できるため(講)
- 学生に対して予習・復習の習慣づけができるため(講)
- 学生ごとに理解スピードが違うため、ライブ配信に加えて動画・音声ファイルの配付を行うことはかなり有効であるため(講)

## 10.資料配信・課題研究が良い理由（自由記述）

- 講義動画や資料を繰り返し見ることによって知識が深まるため(講)
- 学生が自分のペースで学習できるため(講)
- データの容量が動画配信よりも抑えられるため(講)

## 11. その他、何か意見があれば自由にお書きください

- ZOOMのアカウントを教室ではなく、各教員へ割り当てて欲しい
- 学期末試験は対面で行わせて欲しい
- 学生へWi-Fi機器やパソコン等の通信環境に関するサポートをもっと手厚くして欲しい
- 3Sの機能が充実していないため、Google Class等を併用することになり、学生が混乱しているので3Sの機能改善を検討して欲しい